

中学校区の育成指標に関する実践的研究

－ 小中一貫した「つきたい力」の再構築 －

学籍番号 209131

氏名 山口 敬之

主指導教員 田中 満公子

1. 背景

1.1 小中一貫教育

近年、学校現場の課題は多様化し、複雑化している。このような状況の中では、個々の教員の努力や1学年単位での努力、学校単位の努力だけでは、複雑化し、多様化した問題への対応は困難だという認識が広くなされている。小学校教員は、中学校での学習や子どもたちが中学校を卒業するときの姿をイメージしながら、また、中学校の教員は、小学校で何を学び、今の子どもたちの姿があるのかを知った上で指導に当たらなければならない。つまり中学校区を単位として学校教育を充実させていかななくてはならないのだ。

1.2 目指す子供像とその指標

中学校区を単位として学校教育を充実させていくためには、小・中学校の協働により、子どもたちが15歳の段階で身につけておくべき力は何かという観点をもって、「目指す子供像」を設定しなければならない。さらに、「目指す子供像」の実現のためには、具体性のある目標と、目標を可視化するための評価項目や指標を立てることが重要である。

1.3 実習校区の実態

A中学校区はE市教育委員会の指導の下、小中一貫教育の取組みを進めてきた。その成果に、「子どもたちにつきたい力」（以下「つきたい力」）がある。これは、A中学校区の目指す子供像「学びを通してつながり、輝く未来をきりひらく子」の実現に向けて、子どもたちに育むべき資質・能力を、就学前と義務教育9年間を見通し、それぞれのステージに合わせた到達目標を示した育成指標というべきものである。

しかし、課題がある。A中学校区は、この育成指標「つきたい力」をふりかえり、何をめざしているのか、まためざしてきたのかの意識づけを教員に対して行う組織になっていないのである。つまりPDCAサイクルのPは掲げているものの、D、C、Aの体制が十分には整っていないといえる。

2. 実践的研究

2.1 研究の目的と実践

そこで本実践的研究の目的を、『A中学校区のめざす子ども像を具現化するための育成指標

「つけたい力」を、教員にとって距離感のない身近なものにし、それを意識しながら教育実践を進める中学校区にすること』とする。そしてその実現のために、以下のことを実践した。

- 1) A中学校区の「つけたい力」が何をめざしているのかが、教員に意識される仕組みづくりをすること
- 2) A中学校区の「つけたい力」を今のA中学校区の教員で、現状に合わせた刷新を行うこと
- 3) A中学校区の教員たちが、「つけたい力」に示された目指す資質・能力を育成するには、教育課程のどの部分で、またどんな学習指導が必要であるかを考え、往還させること


3. 考察

3.1 意識・活用され始めた「つけたい力」

2020年8月、A中学校区の教員を対象に行ったアンケート調査では、『子どもたちにつけたい力』の各項目を自身の授業やクラス、学年、学校での取組みなどで意識・活用していますか。』の回答結果が、肯定34%、否定66%であった。2.1に示す3つの実践を経て、2021年12月、再度同じ質問項目でアンケート調査を実施した。結果は、肯定77%、否定23%であった。アンケート結果からも「つけたい力」が意識・活用され始めたことが読み取れる。

3.2 今後の展望

下記の表のように、A中学校区は多くの教員の参加によって「つけたい力」を刷新することができた。今後は、引き続き「つけたい力」という同じ指標を持ち、子どもたちの成長をみとりつつ、「つけたい力」に示された8つの資質・能力の中から、中学校区として育てたい資質・能力を焦点化し、ねらいを定めた教育の充実を図っていきたい。

A 中学校区9年間で子どもたちにつけたい力 					
資質・能力	つけたい力	就学前・小1	小2・3・4	小5・6・中1	中2・3
身につける 「そうなんだ!」 「やってみよう!」 たくさんの興味や経験は、 人生の基礎を築きます。	知る	生活や活動を通して 気づき、知る	活動や体験を通して、 身の回りのことを知る	多様な考えを知る	社会の変化に対応できる 幅広い知識をもつ
	使う	生活の中で、 自分の考えを表現する	自分の経験や 学びをいかす	学びや多様な考えを 課題解決にいかす	目的に応じて 必要な情報を遊び、 次の学びや生活にいかす
深める 「なるほど!」 「どう思う?」 「いっしょにやろう!」 しっかり考える力は、生きるための 土壌に根をはります。	考える	自分の思いや考え、疑問をもつ	自ら課題を見つけて、 自分の考えに理由をもつ	情報を整理・分析して、 自らの経験につなげて考える	物事の意味をより深く考え、 見極めようとする
	伝えあう	自分の気持ちや 考えたことを伝える	自分の意見と比べながら、 聴いたり、話したりする	自分の思いや考えをもとに 意見交流する	相手を尊重しながら 自分の考えを根拠を もって表現する
	ともに学ぶ	ともに学ぶ楽しさを知る	友だちと協力して課題を 解決しようとする	友だちの考えをいかして、 自分の視野を広げる	公平な立場で議論しあい、 自分の考えを深める
未来 「“自分らしく”って?」 「もちあじをいかそう!」 「夢をえがこう!」 わたしも、あなたも、 みんなかけがえない宝物です。	向きあう	自分のよいところを知る	自分を大切にす	自分自身を受けとめる	社会の一員であることに気づき、 見つけ、考え続ける
	心をひらく	ちがいにふれあいを感じる	互いのちがいを もちあじとしてとらえる	互いのちがいを認め合い、 豊かさを生みだす	社会の現実を知り、 立ち止まって考え、発信する
	挑戦する	いろいろなことに興味をもち、 チャレンジする	失敗を恐れず、 たくさん経験する	自分のすべきことを考え、 行動におこす	夢や目標に向かって成長する